

褒章受章者の横顔



黄綬褒章（弁理士業務功労）

つね だ いさむ
恒 田 勇

学歴・職歴

昭和 39 年富山大学工学部工業化学科 卒業、
（現在）恒田国際特許事務所

弁理士会歴

昭和 52 年弁理士登録（8312 号）
平成 20～22 年 日本弁理士会常議員
平成 20～21 年 常議員会第二委員会 委員
平成 21～22 年 常議員会第二委員会 委員
平成 2～3 年 北陸地方委員会 副委員長
平成 5～6 年 北陸委員会 委員長
平成 6～7 年 特許制度運用協議委員会 副委員長
平成 11～12 年 弁理士報酬制度委員会 副委員長
平成 13～14 年 北陸部会 副部会長
平成 17～18 年 北陸部会 副部会長
平成 17 年 北陸支部設立準備委員会 副委員長
平成 19～20 年 北陸支部 支部長
平成 21～22 年 北陸支部 支部幹事

賞

平成 9 年 中部地方発明奨励功労表彰
平成 12 年 弁理士会特別功労表彰
平成 12 年 富山県功労賞県知事表彰
平成 14 年 日本弁理士会永年功労表彰
平成 19 年 知財功労賞特許庁長官表彰

受章に浴して

この度、平成 22 年秋の黄綬褒章の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。これも、皆様方のご支援、ご鞭撻の賜と心より感謝申し上げます。また、黄綬受章に際しては、筒井会長はじめ、多くの会員の方々から、ご祝辞をいただきありがとうございました。

振り返ってみますと、昭和 54 年、富山での開業時は、日本海側では目新しい「国際特許事務所」としてスタートし、逸早くカナ端末のパトリスを導入するなど、かなり積極的に活動致しました。また、業務範囲も、特・実・意・商・海外・訴訟とまんべんなくやらせていただき、内容も「越中ふんどし」から「ハイテク」まで幅広く変化に富んでおりました。近年は科学技術会議や特許戦略会議の委員なども務めさせていただき、楽しく仕事をやらせていただいております。

今後もこの榮譽に恥じることはないよう、弁理士業に励み、微力ではありますが、知的財産制度の発展に寄与したいと思っております。